



平成 27 年度
地域まちづくり活動助成金
活動成果概要

平成 28 年 3 月

東大阪市 協働のまちづくり部

NPO・市民活動支援課

目次

『地域まちづくり活動助成金』の概要……………	1
選考方法・審査会委員……………	1
各交付事業の成果一覧……………	2-3
活動成果概要……………	4-47

『地域まちづくり活動助成金』の概要

地域まちづくり活動助成金制度は、東大阪市の地域資源の活用や地域課題の解決に向けたまちづくり活動の活性化を図り、わがまちとして愛着と誇りの持てる市民主体の魅力ある地域づくりを目的としています。

選考方法

スタートアップ（たまご）助成金	書類と面接（5分程度）
それ以外の助成金	書類と活動内容発表会 （5～10分程度のプレゼンテーション）

いずれも「東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会」において採択団体や助成金の額などを審査します。

○審査基準

- ・組織運営の健全性 ・事業の公益性 ・組織の発展性
- ・事業の独自性・創意工夫 ・事業計画の実現性 ・事業経費の妥当性

平成27年度東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会委員

平成27年度の審査は、下記の審査委員により審査を行いました。

	氏名	選出団体及び役職
会長	吉田 忠彦	近畿大学経営学部教授
副会長	有田 典代	国際文化交流協会 事務局長
	田中 晃代	近畿大学総合社会学部准教授
	藤江 徹	あおぞら財団（公益財団法人公害地域再生センター）事務局長
	大西 洋子	協働のまちづくり部次長

各交付事業の成果一覧

<スタートアップ（たまご）助成金>

これから主体的なまちづくりの第一歩を踏み出す団体への助成金。

	団体名	事業名	ページ 番号
1	小阪中校区まつり実行委員会	第3回小阪中校区まつり	4
2	善根寺まちづくり協議会	荒廃した山間地域の活性化事業	6
3	縄手北校区福祉委員OB会	縄手北校区福祉OB会主催の『手づくりサロン』	8
4	ささえ愛、わかば	高齢者ふれあいサロン	10
5	障がい児通所施設連絡会	障がいの理解を得るための広報事業	12
6	HIGANBA	地域活性クーポンカレンダー製作・販売事業	14
7	ネコの飼育を考える会	ネコの適正飼育への啓発	16
8	「ひょうたん山夢街道まつり」実行委員会	「ひょうたん山夢街道まつり」開催事業	18
9	東大阪市22会	22階を活用した東大阪市の歴史の展示	20
10	NPO法人ビーボ	介護保険非該当者および地域住民の為の介護予防事業	22
11	東大阪市中企業会長倶楽部	東大阪市産業の担い手人材育成事業	24
12	東大阪市地域交流研究会	紙資源を活用した地域社会での文化・交流事業	26
13	工場を記録する会	高井田地区のものづくり再発見と体験事業	28
14	梶無神社ふれあいやさい市実行委員会	梶無神社ふれあいやさい市開催事業	30
15	コミュニティカフェ・ひだまり	コミュニティカフェは「街の駅」「関係づくり」「つながりづくり」の場	32

<ステップアップ（ひよこ）助成金>

おおむね活動経験が5年以上の団体への助成金。

	団体名	事業名	ページ 番号
1	東大阪こさかJAZZ実行委員会	東大阪JAZZライン 第7回こさかJAZZストリート	34
2	一般社団法人ひせ支援ネットワーク	地域支え合い支援事業	36
3	特定非営利活動法人東大阪日本語教室	商店街を利用した外国籍市民の“コミュニティひろば”事業	38
4	島之内 ^{ダンジリ} 地車好友会	「手づくり ^{ダンジリ} 地車」を通して行う青少年健全育成及び地域活性化事業	40
5	2019RWC・Shinlakeshima・「遊」・Space	安心・安全・快適なまちづくり事業	42
6	特定非営利活動法人共に自立あくしょん	「さおり教室・音楽・学習会」等の交流場づくりを通じた地域共生型互助活動の啓発事業	44

<まちづくりファンド（トライ）助成金>

まちづくりの拠点となる施設や空間整備などのハード事業への助成金。

	団体名	事業名	ページ 番号
1	近畿大学建築会学生部会建築研究会（建築学部同窓会学生部会）	長瀬近大通り長屋再生プロジェクト	46

平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	第3回小阪中校区まつり		
団体名	小阪中校区まつり実行委員会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	～校区まつりを通じて「地域愛を育む」～の主旨で企画・運営を行う。地域の皆様のより深い結びつきを目的とする。 したがって、企画・運営はすべて同地域のスタッフのみで構成し、それぞれがそれぞれの立場で協力し合い、相手を思いやる心を育む。
	内容	本まつりの前身は「教育協議会のおまつり」（発表会）のため、まつりは2部制とする。 <1部> 校区の幼稚園児、小学生、中学生のダンス、斉唱、演奏 <2部> ダンス甲子園、ジュニア歌うま選手権、もぐもぐ横丁等

活動実績	<p>平成25年、実行委員会として発足。 「小阪中校区まつり」の企画、運営は3回目を迎えます。実行委員は小阪、八戸ノ里地区にお住まいの26名ですが、今回は近大のボランティアスタッフや当日お手伝いのPTAスタッフ約30名、企業、行政のPRスタッフを含めると150名を超える大勢の人たちで運営しました。</p> <p>平成25年10月26日「第1回小阪中校区まつり」開催 開催場所：小阪中学校 来場者数 約4000名</p> <p>平成26年10月25日「第2回小阪中校区まつり」開催 開催場所：東大阪アリーナ 来場者数 約12000名</p> <p>平成27年9月23日「第3回小阪中校区まつり」開催 開催場所：東大阪アリーナ（企業共同開催） 来場者数 約15000名 通年、6～7回の実行委員会、各委員会は随時開催（企画委員会・8回） スタッフ間の打ち合わせも随時</p>
------	--

<p>事業の成果・効果</p>	<p>事業開催が3回目を迎えたことでスタッフも顔見知りとなり、地域の輪が広がってきました。老若男女を問わず共通の話題で議論出来てきたことがとても有難いことです。</p> <p>参加いただいたこどもたちが、立派に演技し、大いにはしゃぎ、美味しいものを口いっぱい頬張る姿はいつ見ても心が安らぎます。</p> <p>この子たちが大きくなった時に少しでもこの一日を思い出してくれたら最高です。こどもたちが自ら企画・運営するような設営が出来ればもっと“地元”を好きになってくれるかも知れません。</p> <p>このテーマにもチャレンジしていきたいと思います。</p> <p>実行委員会の発足以来3年で培った、このチームワークを基礎としてさらに地域愛を育むためには、今後参加いただくスタッフのみならず、まつり当日に遊びに来て下さる観客の方すべてが笑顔になり、又来年も来よう！と感じていただけるよう、われわれ実行委員一同BESTを尽くしていきたいと考えます。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>今回、企業と初めてコラボしましたが、次回以降もこの流れでいきます。</p> <p>HOS/アリーナフェスタとの合同開催は、お互いに多くの学びもあるのでとても有効です。その他企業はブース出店にとどまっていたので次回以降は共同企画も展開していきたいと考えます。</p> <p>第1部の構成は主にこのまま推移すると思いますが、第2部の企画、ゲストの選択に関しては再考の余地があります。今後担当スタッフ間での検討材料です。</p> <p>実行委員の方のほとんどがその他の地域の役を兼任されている現状があるので、今後はもっと若いスタッフにも手伝ってもらえるよう、スタッフ拡大にも努めていくつもりです。</p> <p>次回以降も、スタッフのより強固な結びつき、絆を求めて“元気ハツラツ”進んでまいります。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	荒廃した山間地域の活性化事業		
団体名	善根寺まちづくり協議会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	50,000 円

事業の目的・内容	目的	山間地域の活性化により、「ふるさと善根寺」を再認識して、地元愛をはぐくむことによって、まちの活性化につながります。そこで山間の特色である木を利用した、事業を推進するためです。
	内容	荒廃した山を、木を間伐し手入れすることにより、日がさすようになり山が生き返り、山枯れの生駒山の汚名を少しでも返上できるような活動を進めてまいります。 また間伐材を利用した、しいたけ栽培をすることにより、資源の有効活用を推進する。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民有地の竹の伐採 5月15日から20日の5日間・6月1日から3日間、会員4名とボランティア2名で、延人数28名が参加して侵入竹除去し竹林整備活動をいたしました。山間地域の竹林の侵入による山の荒廃は、行政として民間活力を利用する取り組みをもっと考えるべきではないかと思えます。今回の活動を通じて改めて地元の山を荒廃しないような、竹林の侵入防止活動進めてまいります。 ・ 木の間伐作業 善根寺町の村の財産である通称（野山）で木の間伐作業を11月15日から3日間会員4名延人数12名により、くぬぎの木等の間伐を行い、間伐したくぬぎの木に、翌年1月にシイタケ菌を入れました。シイタケは秋には出るかも、わかりませんが、間伐した木の有効利用と山の下草刈りにより日が差すようになり、ちょっとでも山の荒廃を食い止める活動を今後ともしていきます。
------	---

事業の成果・効果	<p>地域住民が、山の資源である、竹、木、森などを活用を再認識して、善根寺町の活性化につながり、あらたなコミュニティづくりを進め、私たちが生まれて育ったふるさと「善根寺の活性化」の一助になります。</p> <p>また、子供会との連携しながら今回は、1月に善根寺町の財産である通称（野山）にいて、昔は大阪から善根寺・生駒・奈良への道がこの（野山）を通過して往来していたことを説明して、地元の歴史の伝承活動を行いました。</p>
今後の事業展開	<p>荒廃した生駒山西麓に位置する善根寺地元の山を、鬱蒼と茂った木を間伐し手入れすることにより、日がさすようになり山が生き返り、山枯れの生駒山の汚名を少しでも返上できるような活動を進めてまいります。</p> <p>また間伐材を利用した、しいたけ栽培をすることにより、地元の自然で豊かな資源の有効活用を推進する。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	縄手北校区福祉OB会主催の「手づくりサロン」		
団体名	縄手北校区福祉委員OB会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○他町会との世代交流で、地域の防災意識等を高める。 ○子育て支援により高齢者の孤立を介護予防につなげる。 ○特に独居高齢者の会話の場として、情報交換してもらう。 ○サロンで食育、介護予防、一番は笑顔づくり！！
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回福祉関係（社協、地域院等）の方に参加頂いて、何でも相談出来る場です。 ○サロンで提供する物で、必ず野菜を盛り付けて頂く（スタッフ） ○他町のお友達と、孫さんと、自由に参加出来る（子供も用も準備）

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ○以前は、1ヶ所の自治会館で始めのサロンでしたが、助成で、4ヶ所の会館にサロン備品を置ける事が出て、スタッフの負担が軽減した。 ○4ヶ所それぞれ、特色を出して、利用者にも楽しんでもらった。桜町はサビイロ、旭町は焼ソバ、本町は焼菓子、昭和町はコッソリ。毎回スタッフでメニューを考える。 ○その結果、どの会館にもリピーターが出て、南倉前に、来訪（7）南店を待つという状態です。 ○スタッフと顔見知りとなり、お名前も知らぬ参加者から外で出合った時、「いつもこちらさん。」とか「また、いっか。」とか、お声をかけて頂くことが多くなりました。
------	--

<p>事業の成果・効果</p>	<p>○ サロンの行方から、知り合いが増え、買物の時間かかるように。参加者の多から、1割く言葉です。 (嬉しそうに話されて)</p> <p>○ スタッフの多くが学童の早朝アイカードをやっているで、サロンに来てくれば子どもとの会話が増えた。 「おはちちゃんあつるー、」「私、ハンバーグ好きやねん」</p> <p>○ お一人暮らしの高齢者は、簡単レシピで、作っています。この事、 (サロン)</p> <p>効果 何れ、スタッフメンバー(高齢者)が、色々のアイデアを出して、 メニューを考案する事で、臆しなくなり、増え元気で活動出来ている事です。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>実の所、私達の団体名が長々しくカタいとの意見から、親しみやすい名前に変更する事になりました。 親子北校区福祉委員OB会 → 福祉活動グループ「竹んぼ」 「竹んぼ」として、内容活動は継続して、中身の充実を目指す事になります。 特に介護予防として(健康体操)体の不自由の方でも出来る運動、子供が遊べるから出来る運動を考案中です。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



← (辛がりおもしろ) 子育て支援まで

平成 27 年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	高齢者ふれあいサロン		
団体名	ささえ愛、わかば		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	東大阪市長瀬町の 60 歳以上の高齢者の引きこもり（昼間独居など）「高齢者を孤立させない」を合言葉に高齢者のいきいきさを取り戻し、サロンに来所している参加者がいずれかはボランティアとして活動し社会参加し、自立を促していく。
	内容	東大阪市長瀬町在住の 60 歳以上の高齢者を対象に引きこもりや介護の予防を兼ねて月 2 回の喫茶（ふれあいサロン）を開催し、話し相手となり、朝食を摂っていない高齢者にはコーヒー・お茶、パンなどを提供している。

活動実績	<p>月 2 回（第 1・3 木曜日）午前中（AM9:30～PM12:00）に長瀬人権文化センター料理教室を使用し、有償ボランティアの方の協力を得て「ふれあいサロン」を開催。</p> <p>パンセット 150 円 飲みもの（コーヒー・お茶など）100 円にて提供</p> <p>2 月 18 日現在（全 24 回中 22 回終了時）584 名の参加があり、常設のセットメニューに限らず餅つきを開催してお餅の提供、高齢の参加者への啓発事業（詐欺に注意）を開催。また、介護グッズ等の紹介や参加者の交流をはかるビンゴ大会も開催。</p>
-------------	---

事業の成果・効果	<p>毎回ほぼ決まった方（リピーター）に利用していただき、サロンで見かけない方を心配される声もあり、仲間意識の輪が強くなったように感じますし、サロンへ通うことを楽しみにされているので重い腰をあげるお手伝いができなによりです。</p>
今後の事業展開	<p>参加者の大半を占める高齢者にむけての取組みを考えています。具体的には全身を使って脈拍数が上昇する運動から、間違い探し等のペーパー問題などのコグニサイズ（認知症予防）を取り入れた事業の開催。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	障がいの理解を得るための広報事業		
団体名	障がい児通所施設連絡会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	東大阪に住んでいる障がいのある子ども達の事を知ってもらい多くの市民の方に障がい児の理解をしてもらう活動。
	内容	講演会や勉強会を開催して障がい児の事や、障がいの特性や地域の支援体制をどのように構築していけば良いかを東大阪市全体で考える。

活動実績	<p>平成27年6月に東大阪市子どもすこやか部子ども見守り課と共催で市民会館にて勉強会を開催。</p> <p>堺市より講師の先生をお招きして「障がい児のサービス等利用計画の立て方※障がい児とのかかわり方」についての勉強会。参加者は85人。</p> <p>平成28年3月にユトリートにて平成28年度2回目の勉強会を開催。</p> <p>大阪市より講師の先生をお招きして「発達障がい児への身体アプローチ」についての勉強会。参加者は100人。</p>
------	--

事業の成果・効果	<p>平成26年度には、地域まちづくり活動助成金をいただき、年間計5回の勉強会を行うことが出来ました。引き続き活動を続けていく為に、平成27年度も多く勉強会を企画し、前年度からの活動をいかした活動計画を立てました。</p> <p>平成27年6月に東大阪市子ども見守り課と共催で、障がい児の理解をする為の勉強会を開催しました。勉強会の参加人数が85人程になり、関心の高さがより大きなものになってきていることを実感しました。しかし、活動の中で勉強会の内容や場所の問題など、広く多くの市民の方に知っていただくのは非常に大変だということも知りました。</p> <p>平成28年3月にも勉強会を行い、参加者は100人と多くの方に参加していただける活動になってきました。</p>
今後の事業展開	<p>地域まちづくり活動助成金を活用させていただくことにより、たくさんの市民の皆様に『障がい児』の事を知っていただく機会を作ることが出来ました。しかし、もっと多くの市民の方に知っていただかないと、私たちの目指している『東大阪市で暮らしている障がいのある子どもたちがより理解してもらい多くの人との関わりを持てるようになる日常』には届きません。市民の皆様へ理解していただく場所や機会が少ないので、今後も今までと変わらず理解をしてもらえるような活動をしっかりと続けていこうと考えています。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	地域活性クーポンカレンダー製作・販売事業		
団体名	HIGANBA		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	大きくは東大阪全域の活性化です。 カレンダーとクーポンの融合に地域色を前面に出したコミュニケーションツールを制作し、東大阪の店舗・企業・団体と住民の交流と活性の導線とする。家庭内でも地域の情報を掲載したカレンダーで会話の源となりうる存在にする。
	内容	一週間で一枚の週めくりカレンダーの製作・販売。 一枚ごとに市内のお店のクーポン券と、東大阪のまちの情報を掲載。 全53週。

活動実績	<p>2015年10月頃までは毎月一回、以降は月に約2回の全体会議を開催。各メンバーの人脈とスキルを合わせてカレンダーの情報集めと製作。市内のお店53店舗にクーポン有料掲載の承諾を頂きました。また53のまち情報も東大阪市役所や各団体に無料掲載許可を頂きました。</p> <p>2/8から1000部のカレンダー販売を夢時スタートさせることができました。</p> <p>朝日新聞からの取材を受け、1/26付けの朝刊に大きく取り上げて頂きました。その他数社のメディアの取材を受け掲載いただきました。</p> <p>2/12にはJ-COM東大阪局の番組「デイリーニュース」にカレンダーのお話で生出演させて頂きました。</p>
------	--

事業の成果・効果	<p>クーポン・カレンダーの使用は4月からですが、準備段階から多方面で注目頂き、一つの活性を得ています。</p> <p>また次年度に向けて、支援頂けるお話も出てきており今後の活動に向けての好材料となりそうです。</p> <p>またクーポン掲載店さんから楽しみにして頂き、期待して頂いております。商売的な面と同時に、こういった取り組みへの想いの部分でも後押し頂いております。</p> <p>メディアの露出により、多方面でお声かけ頂いております。</p>
今後の事業展開	<p>事業としてのステップアップの速度はこれから団体内で協議することになりますが、毎年継続して市内の定番プロジェクトとしたいです。</p> <p>具体的には店舗の拡大やカレンダー自体の無料配布を視野に入れて大きな事業にしたいと思っています。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	ネコの適正飼育への啓発		
団体名	ネコの飼育を考える会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	10万円

事業の目的・内容	目的	本会は、飼い主のいない猫や放し飼いの猫に起因するトラブル防止と適正管理の促進を実践する市民ボランティアが相互に連携協力するとともに、行政との協働及び住民相互の理解によって動物愛護の精神に則り、人と動物の共生社会を実現することを目的とします。
	内容	1. 飼い主のいない猫や放し飼いの猫に起因するトラブル防止と適正管理の促進。 2. 動物愛護に関する啓発、各種の情報提供。 3. 猫の適正管理の実施に関する市民ボランティア及び行政に対する支援・協力 4. その他、目的を達成するために必要な活動

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 7月6日(月) 夕刻より「動物さんたちの七夕祭り」三ノ瀬公園で開催。つぎ公園のとなり、三ノ瀬公民分館にて、『みんな生きている。～飼い主のいない猫と暮らして～』の映画の上映をしました。 8月31日(月) 18:30より東大阪市役所 平成27年度まちづくり企業交流会に有志で参加発表しました。 12月1日(火) 自治会役員士向け勉強会を実施してまいりものかと東大阪市自治協議会会長にご面談頂きました。 只今、東大阪市猫の不妊手術助成制度と適正飼育の啓発を明記したチラシを作成・配布予定しています。
------	---

<p>事業の成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上映会には、千2名の参加があり、ボチボチですが、広まっていると感じました。 ・まちづくり企業交流会では、市内店舗、企業のみなさんへ、広報協力を値るこほができました。 ・50万人都市である東大阪市は、地域性の違ひもあり全市一帯とはいまません。活動内容を自治会連合会長に知っていただき、次の段階へと期待しています。 ・チラシ原案を作成中。3月には印刷が出来上がる予定。店頭、動物病院、イベントのブース等で配布予定です。
<p>今後の事業展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多頭飼いの崩壊や野良猫の被害等をなくすため、動物指導センターの協力を得て、情報の共有、捕獲の支援などできればと思います。 ・当面資金的協力は無理でも体力・人力でせひ東大阪市を住みよい街にしていきたいと思ひます。 ・チラシは年配の方々が読みやすいように文字を少し大きめにしています。せひ読んでいただきたいと思ひます。

* 活動内容がわかる写真を添付してください。



動物さんたちの七夕祭り

上映会



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「ひょうたん山夢街道まつり」開催事業		
団体名	「ひょうたん山夢街道まつり」実行委員会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	生駒山麓に位置する当地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力を広く発信し、興味と関心の輪を広げ、郷土への愛着と誇りを育む。また、地域の賑わいの創出、人々の交流の促進を図る。
	内容	この地域を南北に貫き、古来より、京の宮人や戦国武将が多数往来し、歴史に彩られた東高野街道を舞台に、市民参加による「時代行列パレード」をメインとしたイベントを開催し、地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力を広く発信する。

活動実績	<p>①「ひょうたん山夢街道」歴史・文化マップ作成 東高野街道周辺の文化財、史跡等を紹介した手作りのマップ</p> <p>②実行委員会ホームページ、「スクラムは〜と」による活動情報、イベント情報、地域の歴史・文化情報を発信</p> <p>③「ひょうたん山夢街道歴史シンポジウム」 (7月26日、四条リージョンセンターにて開催) 【第一部】基調講演 「東高野街道の歴史」 【第二部】パネルディスカッション「大坂の陣と東高野街道」 (参加者) 約 100 人</p> <p>④第1回「ひょうたん山夢街道まつり」(11月8日開催) 旭町子育て支援センターから四条リージョンセンターまでの間 1Km を東高野街道の歴史を振り返り、参加者手作りの装束で武将や宮人に扮し、「時代行列パレード」を実施。併せて、駅前広場で、地元グループの参加による大道芸や河内音頭などのイベントを開催。 (パレード・イベント参加者 約 100 人)</p>
------	--

<p>事業の成果・効果</p>	<p>歴史シンポジウムの開催並びに時代行列パレード等イベントの開催により、当地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力の再発見、興味と関心の輪を広げることができた。</p> <p>また、地元自治会や商店会をはじめ日新高校、枚岡樟風高校、また、大阪商業大学、近畿大学などの参画により、地域の賑わいづくり、コミュニティの活性化にも繋がった。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も継続した取組みとするため、防犯委員会や子供会など地元各種団体や取組みに賛同される方々にも実行委員会への参加を働きかけていく。また、イベント開催に当っては、地域に密着した事業としていくため、子ども達や高校生、大学生など若い人達の参加を更に求めていきたい。 ・公道でのパレードであるため、円滑な通行及び安全確保の面から、警備体制にも十分配慮するとともに、雨天時の対応策についても検討しておく。

*活動内容がわかる写真を添付してください。



←③ひょうたん山夢街道歴史シンポジウム

↓④ひょうたん山夢街道まつり



平成 27 年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	22階を活用した東大阪市の歴史の展示		
団体名	東大阪市 22 会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	私たちは、本庁舎 22 階の市民ギャラリーに市内の作品を展示しながら、眺望から見える、東大阪市の文化・歴史・魅力・強みを東大阪市民に知ってもらい、「誇れる街である」ことを発信しながら、22 世紀に生きる子どもたちに、この街のすばらしさを伝え、次世代の育成を図ると共に、街の活性化をめざすものです。
	内容	歴史、文化、産業についての展示イベント。

活動実績	<p>東大阪市 22 会は平成 27 年度において、市庁舎 22 階の有効活用を図るため、有志が相集い、その知恵を練ってきました。5 月には「展望台から見る東大阪の歴史」と題して、写真展を開催。同 9 月には「まいど衛星展」。28 年 1 月には森田圭吾氏と布施北高美術部の絵画展等、多彩な分野にわたり、レストランの周辺フロアにて色とりどりの賑わいを作り出してきました。3 月には、27 年度の集大成ともいふべき内容で、東大阪市内に文楽人形工房(株)雅舎の菱田雅之氏と東大阪素義幼声会会長武井和司氏等のご協力を得て文楽人形の公演を実施することになりました。</p>
------	--

事業の成果・効果	<p>初回展示の5月11日は、22階レストランの久々のオープンの日。これに合せて開設したことは、レストランに来店された市民に、東大阪市の太古からの歴史を紹介できた。レストラ開店時でもあり、2週間で1,400名程来場。</p> <p>まいど1号衛星打ち上げに関する展示では、関係機関より貴重な写真等を借りて展示。東大阪市のものづくりの技術等を市民に改めて紹介できた。</p> <p>また、展示会のことは、東大阪経済新聞やまいぷれなどWEB上での紹介もあり、市民の見学者が多くあった。京都市や長野県諏訪市からの来場者もあった。2週間で1,200名の来場があったと守衛担当の記録が残っている。</p> <p>森田圭吾氏と布施北高校美術部の絵画は、大きな絵を見る機会の少ない市民にとっては、迫力ある内容であった。400名程度であると推測する。</p> <p>文楽人形展3月5日～13日では、レストランで人形工房雅舎の菱田雅之氏と東大阪素義幼声会会長武井和司氏等のご協力を得て、乙女文楽人形の公演を実施。文楽の生の人形の舞を鑑賞することは、市民にとっても貴重な体験になり、レストランの協力による講演は初めての試み。市民主催であるからこそ、実現できた成果だ。定員50名はすぐに申込み満杯となった。</p> <p>当会が、積極的に市民ギャラリーを活用したことが、他団体も、このスペースを使うようになり、今までにない活用効果を生み出す機会となった。27年5月～28年3月まで、合計11回の展示会が開かれたようだ。</p>
今後の事業展開	<p>次年度もまた、市民ギャラリーを活用した東大阪を紹介する展示会を催したいと思う。レストランとのコラボレーションのような形を今後も考えていきたい。具体的には、河内木綿やものづくりに関する産業展を考案中。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	介護保険非該当者および地域住民の為の介護予防事業		
団体名	NPO 法人ビーボ		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	50,000 円

事業の目的・内容	目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の人達の集いの場を提供 2 年齢に関係なく、介護予防運動で健康寿命を伸ばす 3 認知症予防講座と集いで地域住民の繋がりをつくる 以上三つの目的を掲げ、「みんな元気な町づくり」を目指して活動をしています。
	内容	常設で専門の指導員が指導します。ストレッチ・マシントレーニング・ボール運動・エアロバイク・ウォーキングマシン等とヨガ・ズンバ・ノルディックウォーキングを定期的に行っています。2Fでは誰でも自由に集えてコーヒブレイクなど楽しみながら、ボランティア等の活動拠点になるように願っています。

活動実績	<p>NPO 法人ビーボはエールスペースという集いの場を提供して、1Fでは主に継続的な運動をすることで、全身の筋力・バランス能力・気力を向上させ、介護認定に至らないように健康寿命を伸ばすことを目標にトレーニングをしています。現在、会員は81名。20代～90代まで幅の広い年齢層の人達が利用されています。最初と3ヶ月に一度の体力測定（インボディによる体組成、筋肉量・骨量・脂肪量・水分量などの測定と身長・体重・握力・開眼片足立ち・ファンクショナルリーチ・タイムアップ&ゴーなど）を行っています。運動で筋力・歩行能力などが向上していることを自覚して、さらにモチベーションが上がるという良い循環が確認できます。また、2Fのコミュニティスペースでは、チョークアート・クレイクラフトなどの文化サークルがあり、他に絵手紙と英会話も検討中です。会員以外の人もいつでも集える場を無料で提供しています。友人を誘い合って、お弁当持参でおしゃべりを楽しまれているグループもあります。認知症予防のミニ講座と筋トレで認知症の改善に繋がりたいと活動中です。</p>
------	--

事業の成果・効果	<p>週に 3~4 回運動に来ているという 70 代の女性は、今まで階段は一步一步足を揃えて昇っていたのが、今は枚岡神社の階段を普通に昇れるようになり、運動で筋力が向上していることを実感していると言われ、さらに意欲的に運動をされています。また、正月休みでしばらく運動をしなかったら、今までの負荷がシンドイなど、動かなければ、筋力が衰えることを効果判定の数字以上に自らの身体で感じられています。このように運動の習慣が地域で広がることで「みんな元気な町づくり」の目標に近づけていると感じています。さらに誰でもいつでも集える場の無料提供を継続します。認知症の予防についても成果が確認できるように継続して行きます。</p>
今後の事業展開	<p>地域の人達にエールスペースの存在・活動を広く知っていただく動きが必要と考えています。チラシをコツコツとポスティングすることと併せて、各種イベントを張り紙でお知らせする他、ホームページの活用などの広報活動で会員の拡大につなげたいと考えています。また日常の運動の他、ノルディックウォーキング等基本は室内でトレーニングの後、外歩きもメニューに入れた楽しいイベントを増やしたいと考えています。何よりも魅力のある場づくりでボランティア活動の拠点ともなり、エールスペースの活用も広がって、「みんな元気な町づくり」という夢の実現に近づきたいと思います。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	東大阪市産業の担い手人材育成事業		
団体名	東大阪市中心企業会長倶楽部		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	産業の将来の担い手となる、高校生、大学生に対して、より実践的なビジネスの知識や経験をつたえることにより、これまでにあまり見られなかったキャリア教育を重視し、真に社会が欲する人材教育の一端を担う。
	内容	経験豊富な東大阪中小企業の会長、顧問、相談役らが中心となって、東大阪市内大学や高校の一部へ出張ビジネス講義を実施したが、これらをDVD化し、更に周辺大学、府内高校へ拡大するため、DVDを配布する。

活動実績	<p><出張講義の大学、高校等></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年5月 樟蔭女子大学（安川、成瀬） 東大阪市のものづくりや東大阪地域におけるトップシェア企業の経営戦略等 平成27.8～11月 大阪府立布施北高校デュアルシステムコース（安川、高田、松茂良、成瀬） 普通コースと職業実習コースを全国に先駆けて実施した高校であるが、これに協力した。現在では、この方式が大阪府のモデルとなりつつある。 平成27.11～ 近畿大学中小企業経営論 芦塚教授担当の授業を一部担当、創業や実践的な特許取得、長寿企業に見られる、先進的経営哲学と戦略等、解説した。 <p>* 高校は50分授業、大学は90分授業である。</p>

事業の成果・効果	<p>大学生や高校生は、普段の教員による授業では、到底出てこないような実践的テーマを勉強することにより、社会へ出た時にどのような知識や経験が必要とされるかを学ぶことができる。</p> <p>もとより、短時間の講義で実践的テーマすべてを解説することは困難であるが、その大事なポイントを社会へ出る前に垣間見ることが、スキルアップの大きな動機になったと思われる。後は彼ら自身が勉強し、経験を深め、より進歩していくことが望まれる。</p>
今後の事業展開	<p>現在の中小企業会長倶楽部の出張講義は東大阪市内にほぼ限られているが、DVD化することにより、周辺大学、府下の高校、中学にも教育委員会を通じて行き渡るようにする予定である。</p> <p>従って、今後は大学高校から中学へ、そして地域的にもより拡大していくことが予想される。</p>

近畿大学中小企業経営論（株）山本光学 山本為信相談役 H27.12. 21）



配布用DVD



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	紙資源を活用した地域社会での文化・交流事業		
団体名	東大阪市地域交流研究会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	50,000円

事業の目的・内容	目的	高齢化が進んでいる社会で高齢者と若者の関わりが減っているの で、私たちがその仲介役を担い、紙資源を利用して子供と高齢者 の交流をすることで、地域活性化に貢献することを目的とする。
	内容	子供と高齢者との交流を深めるためにいくつかの場所を借り、段 ボールで作られた紙相撲を用いてトーナメント形式で大会を開 き、優勝者には景品を授与するといった交流イベントを開催する。 ※空いた時間には自由に参加できるようにしている。

活動実績	<p>活動としては以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5月26日 第4回 まちづくり意見交換会への参加 (参加人数3人) ● 7月21日 第5回 まちづくり意見発表会への参加 (参加人数2人) ● 8月2日 布施駅ヴェル・ノール布施5階(夢広場)での交流イベントの開催 (参加人数7人) ● 11月1日 フレスポ東大阪での交流イベントの開催 (参加人数5人) <p>交流イベントは1年を通して2回行った。またこのイベントには他の団体さんと協力を得て行ったものである。</p> <p>フレスポの交流イベントでは、トーナメント形式以外にトーナメントで用いる段ボール力士をお客さんに描いてもらい『自分の力士を作る』というコンセプトで体験コーナーを設けた。そしてそれをトーナメントで使ってもらい、最後にはその段ボール力士を参加賞として提供した。</p>

事業の成果 ・効果	<p>事業の成果としては子供と高齢者が交流する場を一時的ではあるが提供できたと考える。なぜなら、トーナメントに参加する人や、それを応援する子供たちの親子さんや高齢者、興味本位で集まってきた人たちなどが一体となり、楽しんでもらうことや、コミュニケーションをとるなどが行われていたからである。イベントが終わったときには、「ありがとう」などというお声をいただき私たちも「やってよかった」という達成感があった。</p> <p>事業の効果としては、交流イベントといっても1日のことなので、参加してくださった人やご覧になった人にとって良い思い出となってくれたらと考える。またこのような団体が存在するということを知ってくださるだけでも自分にとっては良い効果であると考えている。行ったのが2回なのでもっと場数を踏めば、認知から地域活性化に繋がるのではないかと考えている。</p>
今後の事業展開	<p>これらのような活動を続けていくことで認知から地域活性化に繋げるようにしていくことが目標である。目標に近づけるためには、交流イベントの後に出た反省点を改善し、新たなアイデアを加えることが必要ではないかと考える。</p> <p>しかし、私たちは就職活動をする時期になり両立して行うことは難しいのではないかと考えている。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



←布施交流イベント

↓フレスポ東大阪イベント



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	高井田地区のものづくり再発見と体験事業		
団体名	工場を記録する会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市で製造業を起し発展させてきた歴史を記録する。 ・企業の写真、図面、帳簿等をデジタルデータにして保存する。 ・記録、資料を展示で公開して情報を発信する。 ・小学生対象に高井田地区企業より教材を提供してもらい、ものづくりを体験して楽しさを知る。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高井田地区は市内で最も早く工業地域に指定され、数々の製造業が発展してきた。その歴史を知るとともに、住工共生に代表される現在の問題をともに考える機会を提供する。 ・小学生対象に高井田地区企業の工場見学を通じて地域の魅力を発見して小学生へのPR活動を進める。

活動実績	<p>東大阪市高井田地区の製造業事業所に聞き取りを行い記録にまとめた。あわせて保管されていた写真・図面・帳簿類をデジタルデータにした。これらの記録・資料を昨年9月4～5日、布施駅前市民プラザ夢広場で写真展「高井田の工場を記録する」で公開・発信した。資料提供していただいた方々は言うに及ばず、高井田地区以外の方々も見られた。参加者9月4日：35人。5日：40人。</p> <p>高井田地区で操業されている㈱日本化線に協賛していただきカラーワイヤアート体験教室を開催して小学生13人が参加した。</p> <p>写真展準備と並行して長寿企業調査を手掛けた。活動対象地区を市内に広げるために明治・大正年間に創業した市内製造業事業所にアンケート調査した。69社の対象事業所から37社の回答を得た。本年1月に「長寿企業調査報告書」を刊行した。</p> <p>高井田地区での「ものづくり体験」を実現するために高井田東小学校5年生の「職場見学」に協力して本年1～2月に見学、発表を行った。</p>
------	--

<p>事業の成果・効果</p>	<p>写真展…過去2年間の活動を集約するとともに、現在の課題（住工共生）について問題提起した。今後の活動目的を明確にできたことは意義深い。同時開催したカラーワイヤアート体験教室への参加呼びかけを行うなかで高井田周辺の小学校にアプローチできた。そのひとつ高井田東小学校から5年生「職場見学」への協力依頼が寄せられた。</p> <p>職場見学…高井田地区の聞き取り活動をつうじてつながりができた事業所を高井田東小学校に紹介して3学期の職場見学に実を結んだ。5年生88名を4人の班に編成して22カ所の職場見学を実現した。「高井田を知る」「見学先の事業所をPRする」というコンセプトで2月16日に発表会を行った。地域の事業所、生徒・保護者に理解が深まった。</p> <p>長寿企業調査…市内全域に対象企業が広がっているので今後の記録活動に広がりを生んだ。現在の課題（住工共生）への橋渡しを模索する糸口が生まれた。平成28年度には大阪商業大学商業史博物館で企画展示「東大阪ものづくり長寿企業」を5月16～28日に開催することが決まっているので、その基盤をつくることができた。長期目標である「工場ミュージアム」建設に向けての第一歩を踏み出した。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>本会の高井田地区での活動が読売テレビ「かんさい情報ネットワークten.」で取り上げられ（11月13日）、高井田東小学校5年生に「工場の聞き取り学習」の事前指導として用いた。高井田地区で住工共生について積極的に問題提起していく下地ができたので、従来から活動されている「高井田まちづくり協議会」、「高井田モノづくり体験塾」の取り組みと連携して課題解決の方向を探る。</p> <p>「東大阪ものづくり長寿企業」展をつうじて社会貢献活動を行ってきた事業所に焦点を当てる。その取り組みを発信して上記課題（住工共生）解決への道を探る。</p>



写真展「高井田の工場を記録する」



高井田東小学校5年生
「工場の聞き取り学習」

平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	梶無神社ふれあいやさい市開催事業		
団体名	梶無神社ふれあいやさい市実行委員会		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	地域の神社としての、地域に開かれた農産物直売市（マルシェ）の開催による地産地消・食の安全・独居老人を含む住民交流の場の提供。
	内容	地域に根差す神社として、地元の米・野菜・果物・花をはじめとしてパン・ポン酢等の作り手が出店しての産直マルシェを定期開催し、生産者と消費者の交流、顔が見える食の安全への寄与、地元商店活性化、暮らし情報の共有・紹介など、マルシェを通して周辺地域を盛り上げる。

活動実績	<p>梶無神社ふれあいやさい市</p> <p>開催日・平成27年11月15日・12月20日 平成28年1月17日・2月21日・3月20日<予定>の5回開催</p> <p>出店数・各回8店～10店</p> <p>住民参加者数・各回300名～400名</p> <p>広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上六万寺町自治会・櫻井自治会西六万寺・西六万寺自治会・下六万寺町自治会の全加入世帯に自治会の回覧によって広報紙を配布した。 ・横小路町自治会の全加入世帯に広報紙を回覧した。 ・各自治会・子供会・老人会等の立看板約100基に開催ポスターを毎回掲示し、また、のぼりをたてた。 ・地元企業から、ふれあいやさい市開催の新聞折込広告とエプロンの無料配布の協賛を得た。
------	--

事業の成果	<p>【事業の成果】</p> <p>緑豊かな神社境内で、米・野菜・柿・いちご・花・パン・漬物・ポン酢等のふれあいやさい市を開催することにより、延 1,500 名～2,000 名【3 月開催予定を含む】の地域住民の参加があり、老若男女のふれあいの場・交流の場とすることができた。また生産者と消費者の交流を推し進めることができ、顔が見える食の安全への寄与ができた。</p>
効果	<p>【事業の効果】</p> <p>元来、地元の農業者がつくった米・野菜・果物等の農産物は地元の人々の食材となっていた。今回、産直マルシェを定期開催することで、新鮮で顔が見える地元の農産物が購入できることとなり、食に対する安心感が芽生え、地産地消の促進が図れた。また多くの地域住民が同じ場所に集うことによる顔見知りの人が増加し、会話が弾んだことによって、地域住民の連帯感・ふれあいが深まり、お互いに助け合う安全・安心なまちづくりを進めることができ、農業者自身の農業生産の意欲の増進などにも寄与できた。</p>
今後の事業展開	<p>ふれあいやさい市を次年度以降も定期的に開催することにより、更に食に対する安心感を芽生えさせ、地産地消の促進を図りたい。</p> <p>また、ふれあいやさい市での各種団体へのブースの開放等により、より多くの地域住民の参加を図って、地域住民のふれあいを促進し、お互いに助け合うまちづくりを進めたい。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	コミュニティカフェは「街の駅」「関係づくり」「つながりづくり」の場		
団体名	コミュニティカフェ・ひだまり		
助成区分	スタートアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	カフェの事業として「イベント」を企画し、情報発信を行う。 イベントは地域の高齢者と世代間交流と役割作りを目的として行うものである。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象にした、昔懐かしおもちゃづくり ・まちあるき ・折り紙教室 ・パソコン教室

活 動 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象にした、昔懐かしおもちゃづくり 8月9日：13名参加 ・まちあるき 11月8日：9名参加 「大阪の陣・真田丸を探る」と題して上町台地の北部をめぐる ・折り紙教室 8月8日：6名参加 10月24日：9名参加 12月5日：8名参加 2月27日：9名参加 ・パソコン教室 8月23日：4名参加 9月27日：4名参加 10月25日：3名参加 11月22日：4名参加 12月13日：4名参加 1月24日：6名参加 2月28日：4名参加
----------------------------	---

事業の成果・効果	<p>コミュニティカフェ・ひだまりの「街の駅」的な役割・情報発信の機能の成果により、ほぼ、予定人数を達成できた。</p> <p>イベントに参加して頂いた人たちがカフェの来店にもつながり、共通の話題でコミュニケーションもスムーズに行われているように感じる。</p> <p>ボランティアの参加も増え、助かっている。</p>
今後の事業展開	<p>継続してイベントの展開を予定している。</p> <p>パソコン教室については、各々スキルの違いもあり、展開方法・受講費用の見直しが課題である。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



↑昔懐かしおもちゃづくり ↓パソコン教室



↑まちあるき ↓折り紙教室



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	東大阪 JAZZ ライン 第7回こさか JAZZ ストリート		
団体名	東大阪こさか JAZZ 実行委員会		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	400,000 円

事業の目的・内容	目的	東大阪の小阪の街から近鉄奈良線沿線に質の高いプロ等の演奏を聴き広げ音楽文化の発展と、賑わいのある魅力アップの街づくりを進めます。毎年恒例化することで、東大阪市内・各地域の活性化を目指しつつ市民の文化向上に貢献する事を目的とします。
	内容	大正時代にアメリカ発祥の JAZZ が大阪で流行し、東大阪では「東洋のハリウッド」と言われた帝国キネの小阪・長瀬撮影所で多数の映画が撮影され昭和4年には映画「恋のジャズ」(鈴木重吉監督)が製作され帝キネジャズバンドも活躍していたと伝えられています。この様に「帝キネ」や「ジャズ」に縁の深い東大阪の小阪の街から音楽文化の発展と地域の活性化を目指しつつ、市民の文化向上に役立つと考えています。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 小阪・八戸ノ里菜の花バル2会場にて演奏、音楽啓蒙 ・ 5月 東大阪市ふれあい祭り参加での音楽啓蒙 ・ 7月 近江堂リージョンセンター蓮の広場にて住民の憩イベント参加 ・ 7・8・9月 小阪駅前にてプレイベント演奏、音楽啓蒙 ・ 10月11日 本番18会場にて開催(延べ約1万人の参加頂きました) ・ 10月25日 東花園公園グリーンフェスタ会場にて演奏参加 ・ 12月 小阪Uコミュニティーホテルでのクリスマス JAZZ 演奏イベント開催
------	--

<p>事業の成果・効果</p>	<p>大阪樟蔭女子大学様の協力により市民アンケート調査を実施して頂きました。</p> <p>結果、市民の方々は10月本番日以外のイベントも楽しみにしているとのご意見を多数頂くように成りました。(特に年配の方)</p> <p>もっと街中に音楽を広げて素晴らしい街作りをしてほしいとのご意見を多数頂きました。また今後も継続してほしいとのご意見も頂きました。</p> <p>各メディア(NHK、情報紙等)よりの取材も頂き、また FMcocolo よりも宣伝頂きましたので認知度も上がって参りました。</p> <p>そして、関心の低かった市民の皆様も音楽に興味を持って頂くように成り、広域からも音楽ファンの人々が東大阪に集うように成りました。それにより音楽で地域活性化を目指すこさか JAZZ 実行委員会の活動が音楽文化向上、地域貢献と役立つ事が出来たと考えます。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>市民の方々の認知度はあがりましたが、スポンサー様、協賛頂く企業様の認知度、応援体制はまだまだ低く資金不足の状態と成っています。</p> <p>また、地域まちづくり活動助成金も昨年で終了しましたので本年の本イベントは大幅縮小もしくは見送る事も検討しています。(プレイベント等は開催)</p> <p>しかし、市民の方々のご要望がある限り、創意工夫を尽くして継続出来るように応援企業様を見つける努力も行って参ります。</p> <p>東大阪市と言えば JAZZ ストリートとの認知頂けるような街に出来るようにして行きたいと存じます。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	地域支え合い支援事業		
団体名	一般社団法人ふせ支援ネットワーク		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	布施の街で活動する事業所が個々に持つ機能を集約し連携して多様なニーズに応えることで、ふせの街をさらに暮らしやすい街にする。
	内容	「地域社会へのアプローチ」をテーマとする研修を組み立てる。研修後のアンケートを集約することにより本法人の今後の事業展開につなぐ。

活動実績	<p>平成28年1月18日 14:00～16:00 クレアホールふせにて啓発研修会を実施した。研修には55名の参加があった。</p> <p>研修テーマ：地域社会へのアプローチ ～地域とのつながりが生み出すもの～</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演『地域社会とつながる意義』 新崎 国広氏（大阪教育大学准教授 東大阪市地域福祉計画策定委員） ・実践報告『堺市「放課後等デイサービス じらふ泉北」の取り組み』 原田 徹氏（社会福祉法人 ライフサポート協会障害部長） ・シンポジウム 地域のつながりづくりにどう関わるか 新崎 国広氏、原田 徹氏 川口修司氏（東大阪市社会福祉協議会コミュニティワーカー） 前川 敦（ふせ支援ネットワーク代表）

<p>事業の成果・効果</p>	<p>研修後のアンケートからも、「普段一事業所として狭い範囲のなかで仕事をしているが地域とのつながりが大切であることがわかりました」という内容のものが多くあり、東大阪市の地域のつながり作りに貢献できた。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>当法人に期待する活動として、今回のような研修 35 名、スキルアップなどの連続講座を行う学習会 16 名の希望があった。 今後の事業展開としては参加して下さった事業所を初め東大阪市のいろいろな分野（高齢・障害・児童・・・）と連携し、研修を重ねながら、1 事業所では解決が難しい問題などにもネットワークを組んで問題解決に向けてのアクションを起こしていく予定だ。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	商店街を利用した外国籍市民の“コミュニティーひろば”事業		
団体名	特定非営利活動法人東大阪日本語教室		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	400,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	(1) 日本語学習者の生活日本語力の向上を図るため (2) 東大阪市民としての社会参加意識向上のため (3) 地域住民との相互理解を育むため
	内容	商店街を利用した“コミュニティーひろば”を開設し、外国籍市民が地域住民と交流する機会を提供することで、彼らと地域住民との相互理解を育む事業

活動 実績	月/日 (曜日)	時 間	内 容
	7/19 (日)	13:00~16:00 外 5名 日 9名	商店街で買い物ツアー オノマトペカードを使ったワーク
	7/31 (金) 8/1 (土)	19:00 集合 外 5名 日 5名	夏祭り (盆踊り) 布施イオン前 (土曜夜市) 布施商店街
	9/20 (日)	13:00~16:00 外 30名 日 35名	書道文化にふれる (日本・中国・ベトナム) とおもちつき
	10/10 (土)	13:00 集合 外 4名 日 10名	お茶会 (布施戎境内)
	12/20 (日)	13:00~16:00 外 12名 日 14名	商店街で買い物ツアー “おせち料理を作ろう!”
	1/10 (日)	13:00~16:00 外 13名 日 16名	正月文化体験 (カルタ・こまなど) えべっさん見学
	3/20 (日)	13:00~16:00	写真展 (予定)
場所は クレアホール布施			

事業の成果・効果	<p>本事業を行うことで得られた成果・効果</p> <p>(1) 商店街で店主との会話をする機会を提供したことで、外国籍市民が新たな会話を学ぶ機会となり、彼らの生活日本語力に若干の向上がみられた。</p> <p>(2) スクラム商品券の利用を通じて、商店街の地域振興に寄与し、市民としての社会参加意識が向上した。</p> <p>(3) 外国籍市民だけでなく、会員を含めた一般市民も一緒になって共有の取り組みができ、多文化交流の理解をより深めることができた。商店街での取り組みを何回か実施することで、地域住民にも外国籍市民の存在を認識してもらえた。</p>
今後の事業展開	<p>(1) これまでの教室活動に加え、今回実施した参加型の学習を融合させたり、今ある教室の地域を利用したりして実践の場を作る。</p> <p>(2) 東大阪市の地域性の利用や会員及び学習者の持つ力を引き出せる取り組みを考案する。</p> <p>(3) 国籍に関係なく、参加者が一緒になって取り組める企画内容の充実を図り、多文化理解の機会を増やす。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。

買い物ツアー



おせち料理作り



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「手づくり ^{だんじり} 地車」を通して行う青少年健全育成及び地域活性化事業		
団体名	島之内地車好友会		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	400,000 円

事業の目的・内容	目的	「手づくり地車」を通して、子ども達がさまざまな物を手づくりで行うことによって青少年の健全育成や、その活動を披露・実施する事により地域活性化を目指す。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地車祭を中心に地車修繕、道具作成、炊き出し等を行う。 ・地域のイベントに参加しだんじり囃子のお披露目、模擬店等を行う。

活動実績	<p>例年の活動に加え、活動目標であった高齢者施設等でのイベントに参加し、だんじり囃子のお披露目を実施することが出来ました。 (アーバンケア島之内・東大阪徳洲会病院)</p> <p>とても喜んで頂き広く地域の方々に好友会の活動を知って頂くきっかけとなりました。</p>
------	---

事業の成果・効果	<p>鉦を新調することが出来たことで子ども達の練習にもやる気が感じられ、相乗効果となって龍踊りを踊るメンバーが増え、新たな会員も増えました。</p> <p>助成金交付団体として、自治会や地域の方々にも活動内容を知ってもらえる機会が増え、会の特色でもある「手づくりだんじり」では他地域からの見学や写真撮影をされに来られる方もありました。「青少年健全育成」ではあいさつや目上の方への言葉づかいなどの基本的な教育の実施を評価して頂き、地車祭等で自治会の方々にご協力頂ける事が出来ました。</p> <p>また、他地域からもだんじり囃子の出演依頼を受けるなど、益々活動範囲が広まっています。</p> <p>まだまだ様々な成果や効果はありますが、好友会としましては子ども達の笑顔がなによりの事業の成果・効果だと思います。</p>
今後の事業展開	<p>今後も地域のイベントに積極的に参加し、子ども達の披露の場を増やして行くと共に地域の方々とのつながりをより一層広め、地域活性化に貢献していきたいと思えます。</p> <p>また、来年度は10周年を迎える節目の年にあたります。</p> <p>これを機に、次世代を担う子ども達の為に末永く地車を保存していく活動にも力を入れて行きたいと思えます。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	安心・安全・快適なまちづくり事業		
団体名	2019RWC・Shin I keshima・「遊」・Space		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	まず、老人漂流社会に対応した「ボランティア」活動を逐次実施し、地域に根ざした会として拡大・定着させていく。その延長線上で、「減災防災のまちづくり」と「東花園駅南側の住環境総合整備のウォッチャー」としての活動を高めていく。『安心で快適』、『減災・防災に強いまち』、『桜並木と三方清流に囲まれた町』。それが将来の夢である。夢実現のため多くの会員が自由に参加できる準備として、3部門の活動を継続し、展開中。
	内容	ラジオ体操(毎朝・雨天中止) 歌声サークル(月1回) 名画観賞会(月1回) を継続・拡大していく。

活動実績	<p>○ラジオ体操部門 27年4月ー28年1月までで280日実施、延べ15,714人が参加した。25年6月スタート以来、約2年半で891日実施し、延べ参加者は49,915人(1月末)。2月に「5万人」を突破した。</p> <p>○歌声サークル部門 月1回、第4水曜日に開催。27年度は毎回30ー40人が参加。約2時間のうち、前半は童謡や名曲を合唱、後半はリクエスト曲を歌う。</p> <p>○名画会部門 月1回、第2水曜日に開催。27年度は毎回30人超の参加者。</p> <p>○新規展開 東花園駅南口が17年振りに階段・直行ルートが開通した。待ちに待った開通である。階段の汚れがひどく、当会有志でクリーン作戦を実施。</p> <p>○新規展開 歌劇団をスタディのため、27年11月、5人劇団【KCM】を視察。</p>
------	---

事業の成果・効果	<p>毎朝のラジオ体操は、会員・非会員を問わず広く参加を募り、地域住民の交流の場として定着してきた。新池島の風物詩になりつつある。全国ラジオ体操連盟にも加入。歌声サークルや名画会も含めて、高齢者の安否確認の場にもなっている。高齢者孤立化の共助、低湿地帯の老朽化住宅の減災意識も芽生え、買物難民の助け合いの動きも。住民意識が大きく変わり始めている。当会は発足6年目。将来のまちづくりについて、新池島町に住むみなさんと、安全で快適なまちづくりについて共に考え、語り、手を取り合っていく会です。会が地域住民にかなり浸透し、会員数も平成27年4月時点で、107人だったのが、平成28年2月時点で120人の体制になった。</p>
今後の事業展開	<p>地道な活動を拡大展開することによって、「2019RWC祭り・地元後方支援」や「減災」運動など、次のステップへの体制が整いつつある。地道に努力を重ね、地域住民との共生を第1義に、新池島の未来デザインを実現していきたい。2019RWC花園まつりをソフト・ハード両面から盛り上げていく。同時に、東花園駅南地域全域の住環境総合整備のウォッチャーの役割も果たしていきたい。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「さおり教室・音楽・学習会」等の交流場づくりを通じた地域共生型互助活動の啓発事業		
団体名	特定非営利活動法人共に自立あくしょん		
助成区分	ステップアップ助成金	助成金額	298,000 円

事業の目的・内容	目的	高齢化社会・能力社会・格差社会中で、社会的に排除されがちな人達の心地よい交流の機会・居場所づくりは、必要性のある事である。又社会的に排除されがちな人達の現状の生活や新たな制度の必要性を地域と共に考えあう為、ふれあい交流会・講演会等を行い、市民に地域共生・「支え合い・助け合い」の必要性を啓発・理解頂く事を目的とする。
	内容	「さおり体験」「音楽ふれあい」等の場として地域ふれあい交流会を開催し、主にハンデのある方や高齢者等の悩みを聞きながら地域参加を推進し、誰もが共に心豊かに生きれる地域共生型互助活動を行います。又ふれあい仲間から、社会的に排除されがちな人達の中間的な支援制度について学習会を行ない、市民に啓発活動を行います。

活動実績	5月3・4・5日	中之島祭り 「さおり体験ふれあいコーナー」出店活動
	5月10日	東大阪市ふれあい祭 「さおり体験ふれあいコーナー」出店活動
	8月29日	第1回ふれあい交流会
	10月3日	第2回ふれあい交流会
	10月25日	東大阪市バリアフリマラソン 「さおり体験ふれあいコーナー」出店活動
	11月8日	東大阪ふれあい広場
	11月14日	東大阪市ふれあいの集い 「さおり体験ふれあいコーナー」出店活動
	11月23日	ポジティブ生活文化交流祭
	3月13日	共生型互助活動啓発学習会 「だれもが共に生きれる地域とは？」

事業の成果・効果	<p>当団体の共生活動の方針として、表現活動として良い悪いと切らず一つ一つの表現・作品等をオリジナル・個性ととらえ、分けない！否定しない！として「さおり体験ふれあいコーナー」を継続して行ってきた。本年は「地域市民」との出会い・コミュニティの親密度・輪の広がりを目的としていた為、中之島祭りでは東大阪ボランティア（互助）団体へ新たにボランティア参加依頼した。そしてつながりの輪ができ、さらにボランティア連絡会主催の「ふれあい広場活動」や「東大阪ふれあい祭り出店活動」では東大阪互助団体から折鶴の輪を頂き「当団体の音楽活動」に生かすなど地域協働・共につながりあい・支え合いの活動に大きく進展した事は大きな成果であった。</p> <p>その中で当団体主催で「地域ふれあい交流会」を2回行え、ハンデのある人の音楽活動やモノづくりをしてる互助団体の参加啓発しながら、当団体の共生活動と東大阪互助活動団体とのつながりの場を新たに作りチラシ広報・スクラムは～となどの検索を随時市民に啓発できた事も成果であった。</p> <p>格差社会の中、ひきこもり・働いても貧困・生きづらさがある社会で、生きやすさとは？なぜ地域？なぜつながり？をみんなで考え、共生型互助活動啓発として「だれもが共に生きやすい地域とは？」の学習会を企画し市民に広報できた事も成果であった。</p>
今後の事業展開	<p>「地域市民とのつながり」「互助団体との連携」を意識して、本年新たになに始めた「地域ふれあい交流会」を来年も数回企画・継続し展開していく。</p> <p>「さおり体験コーナー」の継続とみんなの意見で新たな出店活動をつくり、地域イベントにできる限り参画し、ボランティア推進を行い支え合いのつながり活動を展開していく。</p> <p>今後ふれあいつながりの場・地域福祉の相談傾聴などの場・簡単な作業・カフェの場など、みんなで決め・地域参加の起点の場、ふれあいの場を展開していきたい。</p>

中之島祭りさおり体験ふれあいコーナー



第1回ふれあい交流会



平成27年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	長瀬近大通り長屋再生プロジェクト		
団体名	近畿大学建築会学生部会建築研究会		
助成区分	まちづくりファンド助成金	助成金額	5,000,000 円

事業の目的・内容	目的	近畿大学建築学部の学生を中心に、近大通りにある戦前の店舗付住宅を、居場所機能を持つ交流拠点としてリノベーションする事で、地域と大学の繋がりを創出するとともに、東大阪市の空き家ストック活用モデルとする。
	内容	近大通りにある戦前長屋を改修し、地域の子供を中心とした地域の交流拠点としてイベントの開催や遊び場として活用すると同時に地域と学生の繋がりを創出する居場所として気楽に立ち寄れる場所を目指し運用します。

活動実績	<p>26年度にスクラム助成金を頂き、改修前の長屋の一部屋を利用し、地域の方々、子供たちの居場所としてのニーズ調査や地域の方々と話をする中で新たな繋がりをつくるといった目的でプレイベントを3回実施しました。今年度、その活動の中で得た情報やご意見を参考に長屋の改修案を検討。専門家の方の協力のもと設計を行い、改修図面を作成、工事費用の見積もりを行いました。その後トライ助成金を頂き、地域交流拠点の工事を行いました。1月末より長屋の解体工事を開始し、2月初旬から中旬にかけて補修工事を行いました。中旬から現在にかけて補修工事を行いつつ基本工事を進行中です。3月末を工事完了予定としており4月からの運営を考えています。</p>
------	--

事業の成果・効果	<p>長屋の改修は、全体を私達だけで作るのではなく、平成28年度以降にも施工体験として地域の方々や子供達とともに作り上げていく事で長屋に親しみを持ってもらいずっと利用して頂ける居場所にしたいと考えています。</p> <p>またオープン後、オープニングイベントの企画を現在計画しており、それをスタートに随時イベントを地域の方々と共に計画し実施していきたいと考えています。イベントの無い平常時にも常時拠点を開放できる事を目標に地域の方々にも協力を仰ぎながら活動していきたいと考えています。</p> <p>拠点を地域に開放することにより、地域と学生、学生と子供達、また地域の方々同士の交流によって、新たな地域活性活動の創出や、新たな繋がりが生まれる場として利用されることを考えています。</p>
今後の事業展開	<p>この拠点を通じて繋がった地域の方々、他団体の方、他学部、大学の学生と連携して、また新たな企画やイベント等を随時企画します。また、拠点を誰もが利用しやすいように、その時のニーズに合った空間へと更新し続けていける仕組みを検討していこうと考えています。</p> <p>団体としましては、この拠点の運営を引き続き行っていくとともに、この拠点を空き家活用モデルとして、東大阪市の空き家再活用事業を行いたいと考えています。各地域の空き家をリノベーション等によって使用可能な状態にし、地域活動拠点や店舗、住宅等として使用することにより、今まで使用されていなかった空き家を再価値化します。これにより地域をより豊かなものにしていきたいと考えています。</p>

*活動内容がわかる写真を添付してください。

工事前



完成予想CG



工事中

